

# 野村エマージング・ソブリン 円投資型1110

## 運用報告書(全体版)

第27期(決算日2018年7月24日) 第28期(決算日2018年10月24日)

作成対象期間(2018年4月25日～2018年10月24日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

#### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信/内外/債券	
信託期間	2011年10月26日から2022年10月24日までです。	
運用方針	野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国の国債等(国債、政府保証債、政府機関債等)およびわが国の国債に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行うことを基本とします。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。為替ヘッジはマザーファンドにおいて行うため、原則として行いません。	
主な投資対象	野村エマージング・ソブリン 円投資型1110	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村エマージング・ソブリン 円投資型1110	株式への直接投資は行いません。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債を転換したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に原則として経費控除後の利子・配当等収益と売買益から、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			期中騰落率	受利益者	債組入比率	債券先物比率	元残存本率
		税分	込配	み金					
(設定日)	円		円	円	%	%	%	%	%
2011年10月26日	10,000		—	—	—	—	—	—	100.0
1期(2012年1月24日)	9,977		75	52	0.5	2.1	96.0	—	99.5
2期(2012年4月24日)	10,289		75	387	3.9	8.8	97.4	—	87.5
3期(2012年7月24日)	10,572		75	358	3.5	10.7	96.3	—	74.2
4期(2012年10月24日)	10,776		75	279	2.6	10.8	99.0	—	66.2
5期(2013年1月24日)	10,749		75	48	0.4	9.0	98.9	—	53.4
6期(2013年4月24日)	10,688		75	14	0.1	7.6	103.1	—	45.4
7期(2013年7月24日)	10,063		60	△565	△5.3	3.3	96.4	—	40.9
8期(2013年10月24日)	10,065		60	62	0.6	3.2	96.9	—	38.3
9期(2014年1月24日)	9,791		60	△214	△2.1	1.9	96.7	—	36.3
10期(2014年4月24日)	9,973		60	242	2.5	2.7	96.9	—	33.9
11期(2014年7月24日)	10,157		60	244	2.4	3.3	97.3	—	32.2
12期(2014年10月24日)	10,151		60	54	0.5	3.2	96.5	—	31.0
13期(2015年1月26日)	10,207		60	116	1.1	3.3	96.0	—	27.3
14期(2015年4月24日)	10,236		60	89	0.9	3.3	96.9	—	24.8
15期(2015年7月24日)	9,992		60	△184	△1.8	2.6	98.5	—	23.7
16期(2015年10月26日)	9,973		60	41	0.4	2.6	98.3	—	22.3
17期(2016年1月25日)	9,644		60	△269	△2.7	1.8	97.4	—	20.4
18期(2016年4月25日)	10,083		60	499	5.2	2.8	99.4	—	19.2
19期(2016年7月25日)	10,301		60	278	2.8	3.2	100.3	—	18.0
20期(2016年10月24日)	10,254		60	13	0.1	3.1	98.5	—	17.1
21期(2017年1月24日)	9,866		60	△328	△3.2	2.3	96.5	—	15.9
22期(2017年4月24日)	10,005		60	199	2.0	2.6	96.8	—	15.3
23期(2017年7月24日)	10,079		60	134	1.3	2.7	96.0	—	14.8
24期(2017年10月24日)	10,065		60	46	0.5	2.7	98.7	—	14.5
25期(2018年1月24日)	9,918		60	△87	△0.9	2.4	95.3	—	13.7
26期(2018年4月24日)	9,624		60	△234	△2.4	2.0	98.6	—	13.5
27期(2018年7月24日)	9,464		60	△100	△1.0	1.7	96.4	—	13.1
28期(2018年10月24日)	9,125		60	△279	△2.9	1.3	98.5	—	12.7

\* 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\* 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			円	%		
第27期	(期 首) 2018年4月24日	9,624	—	—	98.6	—
	4月末	9,593	△0.3	—	99.4	—
	5月末	9,527	△1.0	—	95.9	—
	6月末	9,447	△1.8	—	97.6	—
	(期 末) 2018年7月24日	9,524	△1.0	—	96.4	—
第28期	(期 首) 2018年7月24日	9,464	—	—	96.4	—
	7月末	9,471	0.1	—	96.4	—
	8月末	9,269	△2.1	—	98.3	—
	9月末	9,262	△2.1	—	100.4	—
	(期 末) 2018年10月24日	9,185	△2.9	—	98.5	—

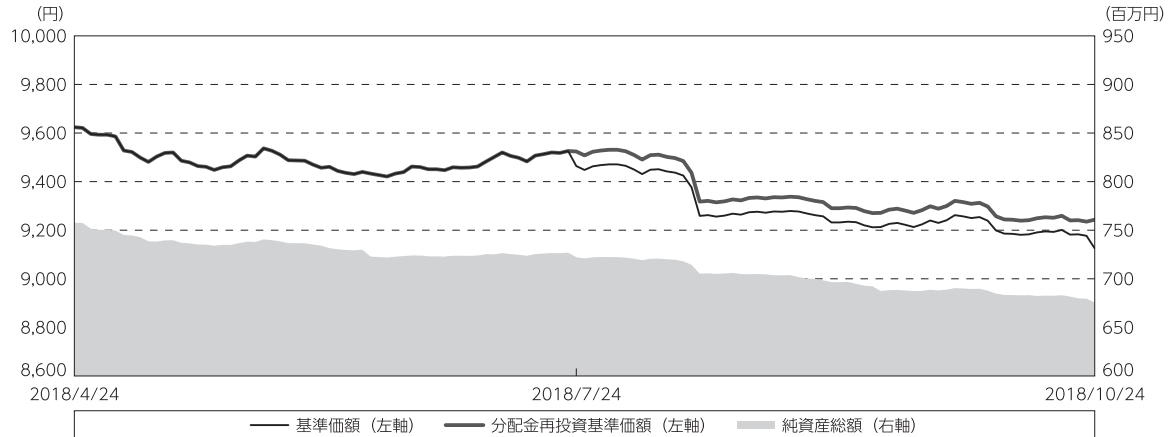
\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○作成期間中の基準価額等の推移



第27期首：9,624円

第28期末：9,125円 (既払分配金(税込み)：120円)

騰落率：△ 4.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2018年4月24日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

\* 基準価額は、4.0%の下落(分配金を決算日に再投資したと仮定して計算。)

基準価額は、第27期期首の9,624円から第28期期末9,125円(分配後)となりました。第27期および第28期に分配金をそれぞれ60円お支払いしましたので、分配金を考慮した値下がり額は379円となりました。

(上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン(利息収入)。

(下落) 保有していた債券の値下がり(キャピタルロス)。

## ○投資環境

当作成期を通じて、米国10年債金利は上昇しました。

米国経済の緩やかな回復を受け、2018年6月に続き、2018年9月に開催されたFOMC（米連邦公開市場委員会）において、政策金利であるフェデラルファンド金利の誘導目標が0.25%引き上げられました。追加利上げへの期待が高まる中で、当作成期を通しての金利は上昇しました。

投資国における米ドル建て国債の対米国債スプレッド（利回り格差）は、拡大しました。

トルコでは、移民問題やEU（欧州連合）加盟交渉、対ロシア関係などでEUとの対立が続いており、米国とはクーデター未遂事件の捜査に関する対立やトルコ国内の銀行のイラン制裁違反を巡る問題で関係が悪化しました。同国の大統領および議会選挙以降、エルドアン大統領の強権的な中央集権政治が強化され、これまで以上に市場への配慮を軽視する姿勢が見られることが嫌気された他、高進するインフレ率が懸念されました。このような環境下、トルコの対米国債スプレッドは拡大しました。

南アフリカでは、2018年4-6月期の実質GDP（国内総生産）成長率が前期比年率-0.7%と前期の同-2.6%から引き続きマイナス成長となり、同国経済への不安が高まりました。このような環境下、南アフリカの対米国債スプレッドは拡大しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### [野村エマージング・ソブリン 円投資型1110]

作成期を通じて [野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド] 受益証券の組入比率を高位に維持しました。

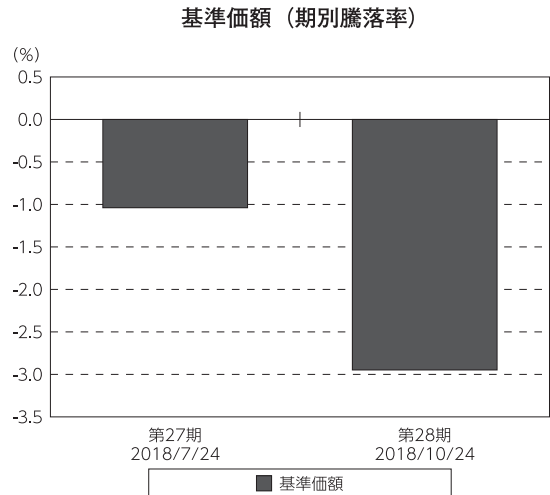
### [野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド]

信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8カ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。当作成期首から2018年8月中旬までは、ブラジル、インドネシア、マレーシア、ハンガリー、南アフリカ、メキシコ、トルコ、コロンビアに投資を行いました。2018年8月中にトルコからフィリピンへの投資国入れ替えを実施し、投資国をブラジル、インドネシア、マレーシア、ハンガリー、南アフリカ、メキシコ、フィリピン、コロンビアとしました。ポートフォリオのデュレーションは4～6年程度を維持しました。また、外貨建資産については、対円でヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## ◎分配金

分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から次の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

	第27期	第28期
1口当たり分配金（税込み）	60円	60円

## ◎今後の運用方針

### [野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド]

今後の運用につきましては、引き続きBB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、投資対象国は5～10カ国程度を基本とし、定期的に見直します。ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。

### [野村エマージング・ソブリン 円投資型1110]

[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○1口当たりの費用明細

(2018年4月25日～2018年10月24日)

項 目	第27期～第28期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 54	% 0.569	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(20)	(0.217)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
( 販 売 会 社 )	(31)	(0.325)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
( 受 託 会 社 )	( 3 )	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.006	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 0 )	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	55	0.575	
作成期間の平均基準価額は、9,428円です。			

\*作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\*各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年4月25日～2018年10月24日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第27期～第28期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド	千口 167	千円 200	千口 47,865	千円 57,100

\*単位未満は切り捨て。



## ○利害関係人との取引状況等

(2018年4月25日～2018年10月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2018年10月24日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	第26期末	第28期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
野村エマージング・ソブリン	円投資型 マザーファンド	620,920	573,222	674,167

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2018年10月24日現在)

項	目	第28期末	
		評価額	比率
		千円	%
野村エマージング・ソブリン	円投資型 マザーファンド	674,167	98.6
	コール・ローン等、その他	9,678	1.4
	投資信託財産総額	683,845	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンドにおいて、第28期末における外貨建て純資産（31,108,677千円）の投資信託財産総額（31,201,732千円）に対する比率は99.7%です。

\*外貨建て資産は、第28期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=112.47円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第27期末	第28期末
	2018年7月24日現在	2018年10月24日現在
	円	円
(A) 資産	728,844,338	683,845,562
コール・ローン等	8,087,542	7,778,438
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド(評価額)	720,756,796	674,167,124
未収入金	—	1,900,000
(B) 負債	6,632,488	8,252,887
未払収益分配金	4,578,660	4,442,460
未払解約金	—	1,836,400
未払信託報酬	2,049,899	1,970,241
未払利息	16	16
その他未払費用	3,913	3,770
(C) 純資産総額(A-B)	722,211,850	675,592,675
元本	763,110,000	740,410,000
次期繰越損益金	△ 40,898,150	△ 64,817,325
(D) 受益権総口数	76,311口	74,041口
1口当たり基準価額(C/D)	9,464円	9,125円

(注) 設定年月日2011年10月26日、設定元本額は5,821,960,000円、第27期首元本額は787,250,000円、当作成期末における元本残存率は12.7%、1口当たり純資産額は、第27期9,464円、第28期9,125円です。

## ○損益の状況

項 目	第27期	第28期
	2018年4月25日～ 2018年7月24日	2018年7月25日～ 2018年10月24日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 415	△ 360
支払利息	△ 415	△ 360
(B) 有価証券売買損益	4,984,653	4,214,186
売買益	4,984,653	4,214,337
売買損	—	△ 151
(C) 有価証券評価差損益	△10,823,027	△23,403,858
(D) 信託報酬等	△ 2,078,136	△ 2,001,151
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 7,916,925	△21,191,183
(F) 前期繰越損益金	△29,620,961	△40,898,150
(G) 解約差損益金	1,218,396	1,714,468
(H) 計(E+F+G)	△36,319,490	△60,374,865
(I) 収益分配金	△ 4,578,660	△ 4,442,460
次期繰越損益金(H+I)	△40,898,150	△64,817,325

\* 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○分配金のお知らせ

---

	第27期	第28期
1口当たり分配金(税込み)	60円	60円

## ○お知らせ

---

該当事項はございません。

# 野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド

## 運用報告書

第7期（決算日2018年10月24日）

作成対象期間（2017年10月25日～2018年10月24日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、米ドル建ての新興国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行うことを基本とします。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
主な投資対象	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行いません。株式への投資は、転換社債を転換したもの等に限りに、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	中率			
3期(2014年10月24日)	円 11,354		% 4.5	% 97.5	% -	百万円 99,187
4期(2015年10月26日)	11,552		1.7	99.1	-	74,359
5期(2016年10月24日)	12,303		6.5	98.7	-	50,939
6期(2017年10月24日)	12,510		1.7	98.9	-	40,402
7期(2018年10月24日)	11,761		△6.0	98.7	-	31,103

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率
		騰	落率		
(期首) 2017年10月24日	円 12,510		% -	% 98.9	% -
10月末	12,485		△0.2	98.1	-
11月末	12,484		△0.2	96.8	-
12月末	12,483		△0.2	96.8	-
2018年1月末	12,409		△0.8	94.4	-
2月末	12,278		△1.9	96.7	-
3月末	12,227		△2.3	96.5	-
4月末	12,139		△3.0	99.6	-
5月末	12,068		△3.5	96.1	-
6月末	11,977		△4.3	97.8	-
7月末	12,097		△3.3	96.6	-
8月末	11,850		△5.3	98.5	-
9月末	11,851		△5.3	100.6	-
(期末) 2018年10月24日	11,761		△6.0	98.7	-

\*騰落率は期首比です。

\*債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

#### \* 基準価額は、6.0%の下落

基準価額は、期首12,510円から期末11,761円となりました。基準価額の下落額は749円となりました。

(上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン（利息収入）。

(下落) 保有していた債券の値下がり（キャピタルロス）。

### ○当ファンドのポートフォリオ

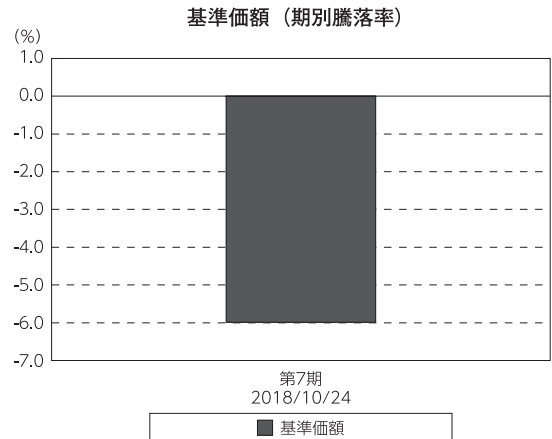
信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8カ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。当作成期首から2018年8月中旬までは、ブラジル、インドネシア、マレーシア、ハンガリー、南アフリカ、メキシコ、トルコ、コロンビアに投資を行いました。2018年8月中にトルコからフィリピンへの投資国入れ替えを実施し、投資国をブラジル、インドネシア、マレーシア、ハンガリー、南アフリカ、メキシコ、フィリピン、コロンビアとしました。ポートフォリオのデュレーションは4～6年程度を維持しました。また、外貨建資産については、対円でヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。

また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



## ○今後の運用方針

今後の運用につきましては、引き続きBB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、投資対象国は5～10カ国程度を基本とし、定期的に見直します。ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○1万口当たりの費用明細

(2017年10月25日～2018年10月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 1	% 0.010	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	1	0.010	
期中の平均基準価額は、12,195円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年10月25日～2018年10月24日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ		千米ドル	千米ドル
		国債証券	40,882	80,497
		特殊債券	2,520	15,158

\*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

\*単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年10月25日～2018年10月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。



## ○組入資産の明細

(2018年10月24日現在)

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	270,300	272,955	30,699,342	98.7	25.0	50.3	48.4	—
合 計	270,300	272,955	30,699,342	98.7	25.0	50.3	48.4	—

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

\*S&amp;Pグローバル・レーティング、ムーディーズ・インベスターズ・サービスによる格付けを採用しています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	COLOMBIA GLOBAL	8.125	26,000	30,816	3,465,960	2024/5/21	
	FED REPUBLIC OF BRAZIL	4.875	14,000	14,255	1,603,316	2021/1/22	
	FED REPUBLIC OF BRAZIL	2.625	22,000	20,504	2,306,084	2023/1/5	
	HUNGARY	5.375	9,500	10,007	1,125,488	2023/2/21	
	HUNGARY	5.375	22,000	23,402	2,632,037	2024/3/25	
	PHILIPPINES GLOBAL	3.0	26,500	24,120	2,712,780	2028/2/1	
	REPUBLIC OF COLOMBIA	4.0	2,000	1,976	222,296	2024/2/26	
	REPUBLIC OF INDONESIA	3.75	25,500	25,156	2,829,376	2022/4/25	
	REPUBLIC OF PHILIPPINES	4.2	10,000	10,143	1,140,893	2024/1/21	
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	5.875	33,300	34,381	3,866,859	2022/5/30	
	UNITED MEXICAN STATES	3.625	20,500	20,495	2,305,081	2022/3/15	
	UNITED MEXICAN STATES	3.6	14,800	14,163	1,592,980	2025/1/30	
	特殊債券 (除く金融債)	PERTAMINA PT	5.25	8,700	8,981	1,010,098	2021/5/23
PETRONAS CAPITAL LTD		3.5	35,500	34,552	3,886,088	2025/3/18	
合 計					30,699,342		

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2018年10月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 30,699,342	% 98.4
コール・ローン等、その他	502,390	1.6
投資信託財産総額	31,201,732	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*当期末における外貨建て純資産（31,108,677千円）の投資信託財産総額（31,201,732千円）に対する比率は99.7%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=112.47円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年10月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	62,011,039,900
コール・ローン等	105,640,937
公社債(評価額)	30,699,342,402
未収入金	30,809,307,540
未収利息	389,574,372
前払費用	7,174,649
(B) 負債	30,908,005,697
未払金	30,857,005,500
未払解約金	51,000,000
未払利息	197
(C) 純資産総額(A-B)	31,103,034,203
元本	26,445,108,730
次期繰越損益金	4,657,925,473
(D) 受益権総口数	26,445,108,730口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,761円

(注) 期首元本額は32,297,302,073円、期中追加設定元本額は6,036,495円、期中一部解約元本額は5,858,229,838円、1口当たり純資産額は1.1761円です。

## ○損益の状況 (2017年10月25日～2018年10月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,661,892,955
受取利息	1,662,109,300
支払利息	△ 216,345
(B) 有価証券売買損益	△3,836,700,706
売買益	3,077,756,347
売買損	△6,914,457,053
(C) 保管費用等	△ 3,573,074
(D) 当期損益金(A+B+C)	△2,178,380,825
(E) 前期繰越損益金	8,105,612,955
(F) 追加信託差損益金	1,263,505
(G) 解約差損益金	△1,270,570,162
(H) 計(D+E+F+G)	4,657,925,473
次期繰越損益金(H)	4,657,925,473

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村エマージング・ソブリン 円投資型1210	7,054,577,558
野村エマージング・ソブリン 円投資型1211	6,683,517,849
野村エマージング・ソブリン 円投資型1212	4,475,734,419
野村エマージング・ソブリン 円投資型1208	4,152,452,054
野村エマージング・ソブリン 円投資型1301	2,105,218,362
野村エマージング・ソブリン 円投資型1110	573,222,621
野村エマージング・ソブリン 円投資型1302	462,068,410
野村エマージング・ソブリン 円投資型1205	365,919,884
野村エマージング・ソブリン 円投資型1111	316,964,092
野村エマージング・ソブリン 円投資型1203	169,312,765
野村エマージング・ソブリン 円投資型1303	86,120,716

## ○お知らせ

該当事項はございません。

### <お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2018年10月24日現在)

年 月	日
2018年10月	-
11月	12、22
12月	25、26

※2018年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご注意ください。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。